K209　菅田川　（L1規模）

S=1：25,000

1. 説明文

（1）この水害危険情報図は、木曽川水系菅田川の県が管理する区間について、水防法に基づく洪水予報河川及び水位周知河川ではありませんが、計画規模の降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この図は、作成時点の菅田川の河道形状を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる概ね30年に1回程度起こる洪水により菅田川が氾濫した場合の浸水の状況を簡易的なシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、この簡易的なシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この図に示されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

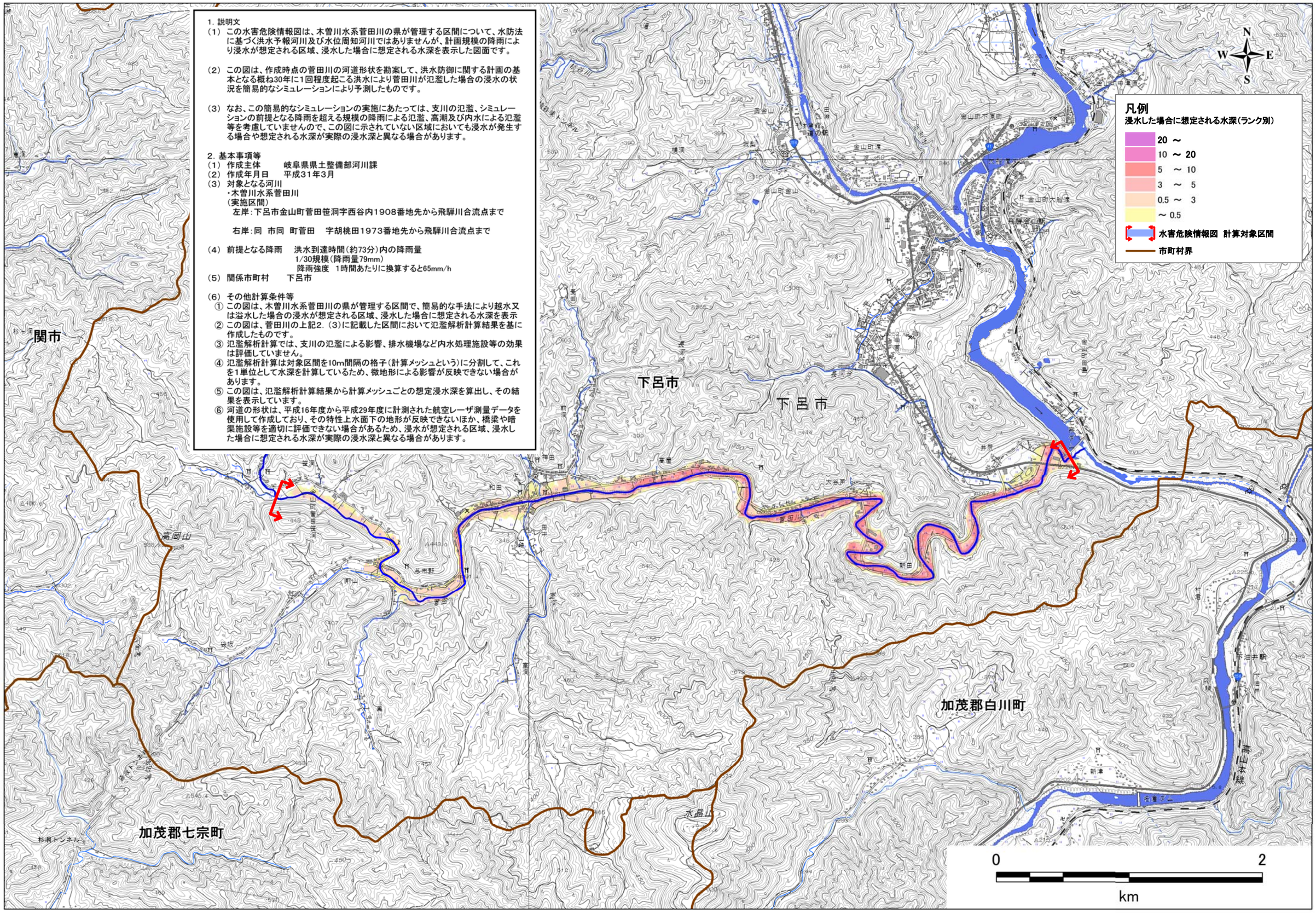
2. 基本事項等

（1）作成主体　　岐阜県県土整備部河川課
（2）作成年月日　　平成31年3月
（3）対象となる河川
・木曽川水系菅田川
（実施区間）
左岸：下呂市金山町菅田笹洞字西谷内1908番地先から飛騨川合流点まで

右岸：同　市同　町菅田　字胡桃田1973番地先から飛騨川合流点まで

（4）前提となる降雨　　洪水到達時間（約73分）内の降雨量
1/30規模（降雨量79mm）
降雨強度　1時間あたりに換算すると65mm/h
（5）関係市町村　　下呂市

（6）その他計算条件等
① この図は、木曽川水系菅田川の県が管理する区間で、簡易的な手法により越水又は溢水した場合の浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示
② この図は、菅田川の上記2.（3）に記載した区間において氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
③ 氾濫解析計算では、支川の氾濫による影響、排水機場など内水処理施設等の効果は評価していません。
④ 氾濫解析計算は対象区間を10m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
⑤ この図は、氾濫解析計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、その結果を表示しています。
⑥ 河道の形状は、平成16年度から平成29年度に計測された航空レーザ測量データを使用して作成しており、その特性上水面下の地形が反映できないほか、橋梁や暗渠施設等を適切に評価できない場合があるため、浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平30情使、第1586号）